

**新大人研レポートVI「新しい大人世代“の社会意識”****「若者世代との交流から新しい文化が生まれる」7割。  
震災を経て、40～60代の若者応援意識が高まる**

- ・「若者世代とお互いの良さを認め合いながら交流・協力し、新しい文化・潮流を作る時代になる」ということに7割が共感。大人世代は「世代間交流・世代間協力」が次の文化を創り出すと認識している。
- ・「地域の伝統を大切にすること」に7割が共感。「自分の行動が地域の利益に繋がること」に5割が共感。

40～60代の意識が従来の常識から大きく変わり、いまや「絶滅!? する中高年」とでも言うべき状況が現れています。「博報堂 エルダナーレレッジ開発 新しい大人文化研究所」では、人生を前向きにとらえ、若々しくありたいとする新たな40～60代を総称して「新しい大人世代」と名づけ、彼らの志向や生活を探る様々な調査を実施しています。このたび、全国の40～60代の男女3708名に向けた調査から、40～60代の社会意識についての分析結果をまとめましたので、ご報告いたします。

分析結果からは、新しい大人世代が、若者世代や地域と協力しながら社会と自立的に関わっていきこうとする姿が明らかになりました。従来の枯れていく中年・老後観ではなく、社会に自ら積極的にかかわり貢献していくことに喜びを見出そうとする、前向きな意識が顕著です。とりわけ、「新しい大人世代が若者を応援する意識を高めている」ことが分かりました。この傾向は、東日本大震災を経たことも大きく影響していると思われます。

新しい大人世代に対し、「若者世代との交流・協力」に関する意識を尋ねたところ、「お互いの良さを認め合いながら交流・協力し、新しい文化・潮流を作る時代になる」という内容に7割が共感すると回答。「若者世代を応援することで、若者世代からも新しい文化・潮流が生まれる時代になる」という内容に6割が共感すると回答しました。世代間の交流と協力、そこから生まれる新しい文化の可能性に前向きな意欲を持っていることが分かります。

また、新しい大人世代に地域についての意識を尋ねたところ、「地域の伝統を大切にすること」に7割が共感すると回答。「自分の行動が地域の利益に繋がること」に5割が共感すると回答しました。地域など身近な生活圏を尊重し、コミュニティに貢献することに重きを置く“地に着いた社会性”を有していることがわかります。

一方、「社会的なテーマに有効な商品・サービスを生活に取り入れること」に前向きな人は6割。消費やサービス利用においても社会性を忘れない、新しい大人世代の高い社会意識が伺われます。

「社会や世の中の仕組みに頼らずに自ら自分や家族を守ること」に共感する人は5割。既存の社会制度や仕組みに頼らずに自ら行動しようとする、自立した意識がもつ人が多いのも特徴的です。

**「博報堂 エルダナーレレッジ開発 新しい大人文化研究所」とは**

当研究所は、「博報堂エルダナーレレッジ推進室」(2000年設立)を前身とし、2011年2月に設立された、40～60代生活者の意識・行動を研究する専門組織です。従来の中高年層の間で一般的であった意識やライフスタイルとは異なる、新しい40～60代が誕生しています。当研究所では、年を重ねるごとに前向きな意識を持つ、この新しい中高年生活者を「新しい大人」と名づけ、少子高齢化社会にプラスのインパクトを与える重要な存在として調査・研究および企業向けコンサルティング業務を行っています。

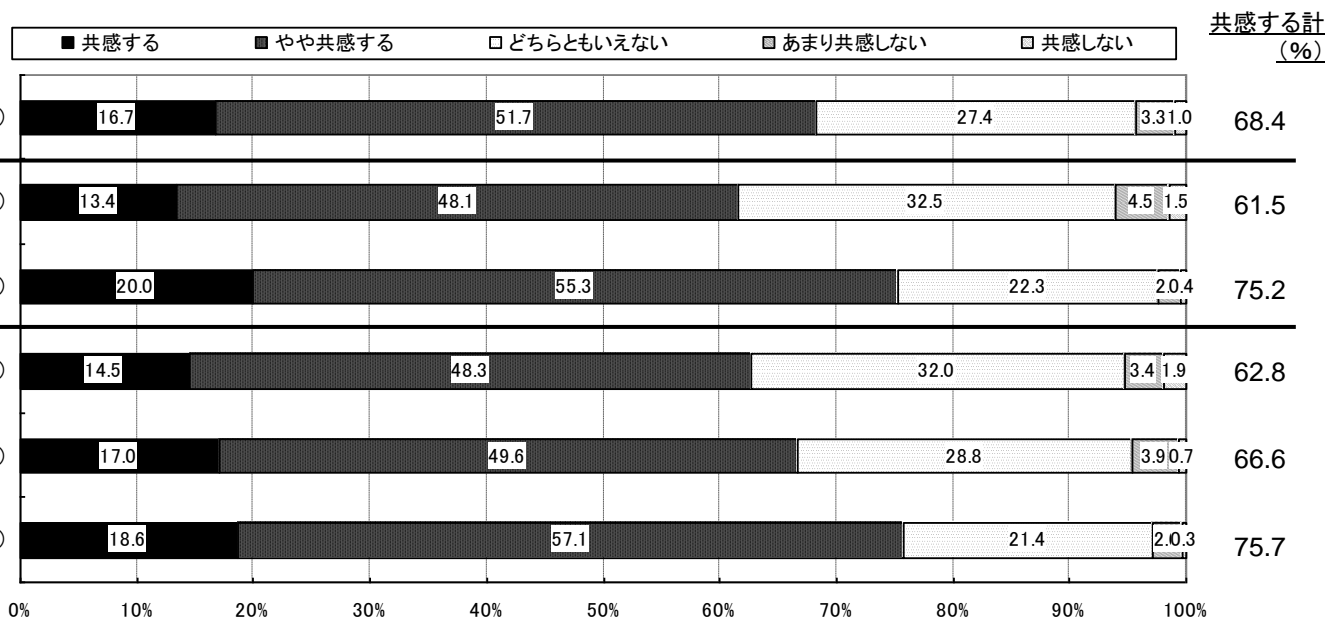
■ 若者世代との交流・協力について意欲が高い新しい大人世代。

■ 世代間交流・協力により新しい文化が生まれる時代になる、と考えている。

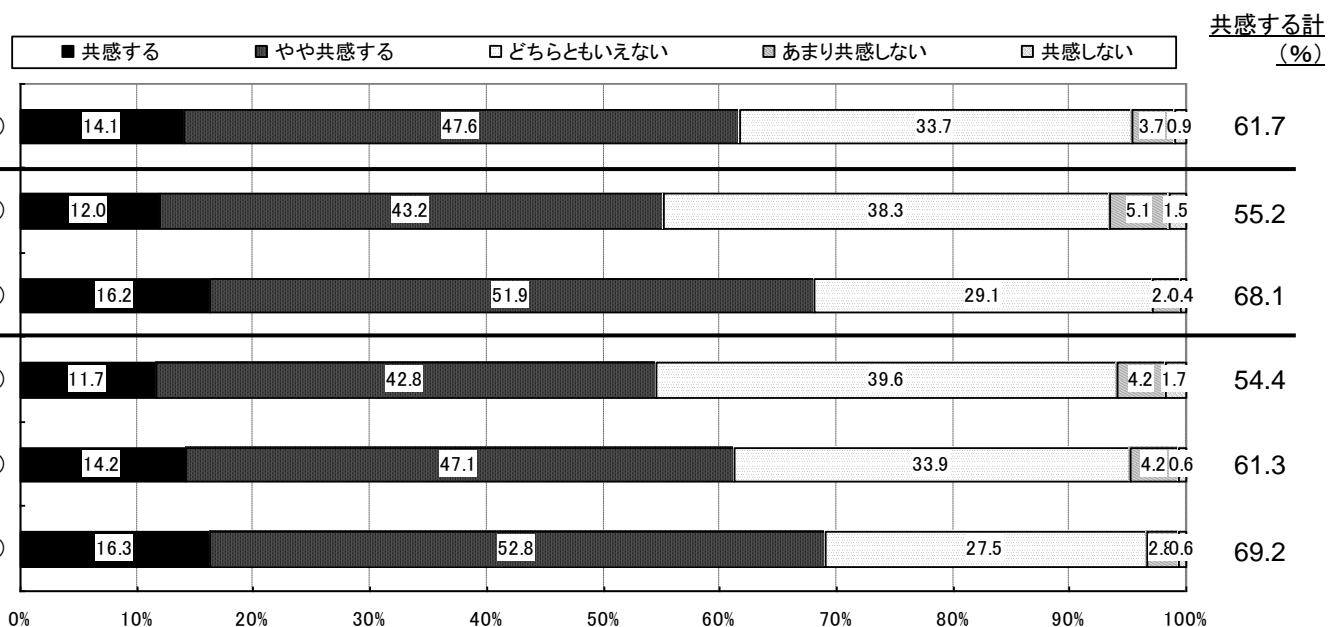
新しい大人世代に対し、「若者世代との交流・協力」に関する意識を尋ねたところ、「お互いの良さを認め合いながら交流・協力し、新しい文化・潮流を作る時代になる」という内容に7割が共感すると回答。「若者世代を応援することで、若者世代からも新しい文化・潮流が生まれる時代になる」という内容に6割が共感すると回答しました。世代間の交流と協力、そこから生まれる新しい文化の可能性に前向きな意欲を持っていることが分かります。

男女の比較で見ると、より女性の方がこの傾向が強く、年代別で見ると、上の年代になるほどこの傾向が強いことが分かりました。

Q.大人世代と若者世代がお互いの良さを認め合いながら、交流・協力し、新しい文化や潮流を創る時代に（単数回答）



Q.大人世代が若者世代を応援することで、若者世代からも新しく社会的にも意義のある文化や潮流が生まれる時代に（単数回答）



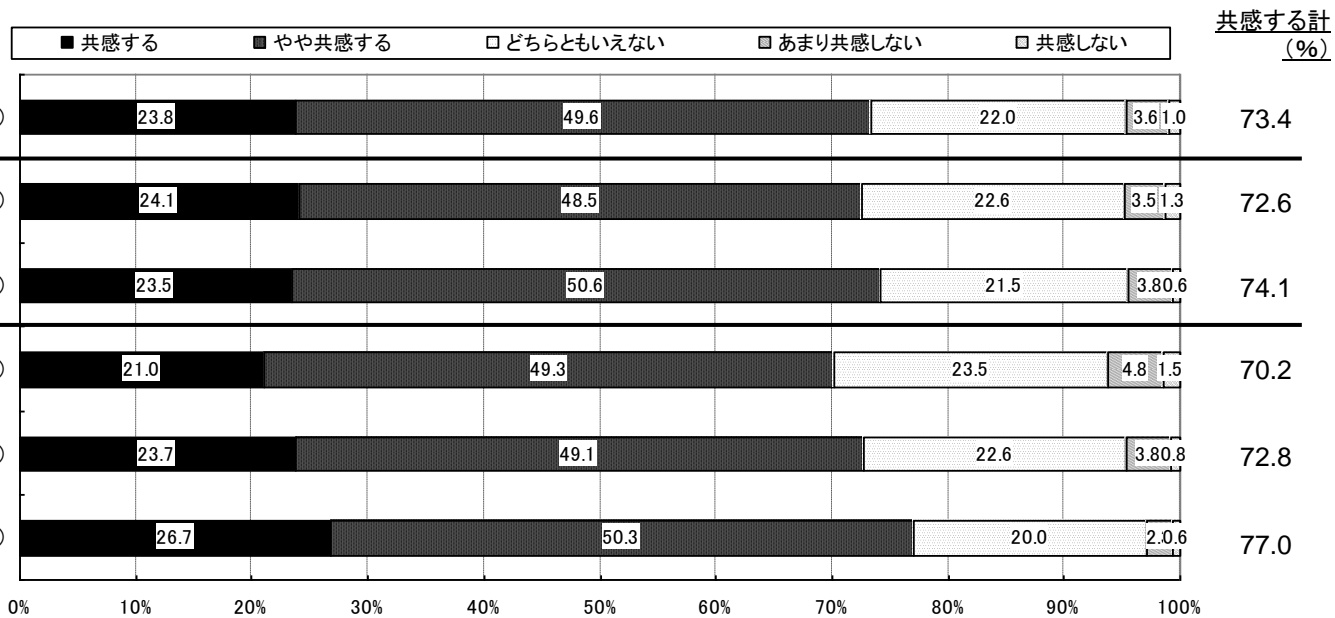
## ■ 地域を大事にする新しい大人世代。

## ■ 地域の伝統を守るとともに地域貢献に対する意欲が高い。

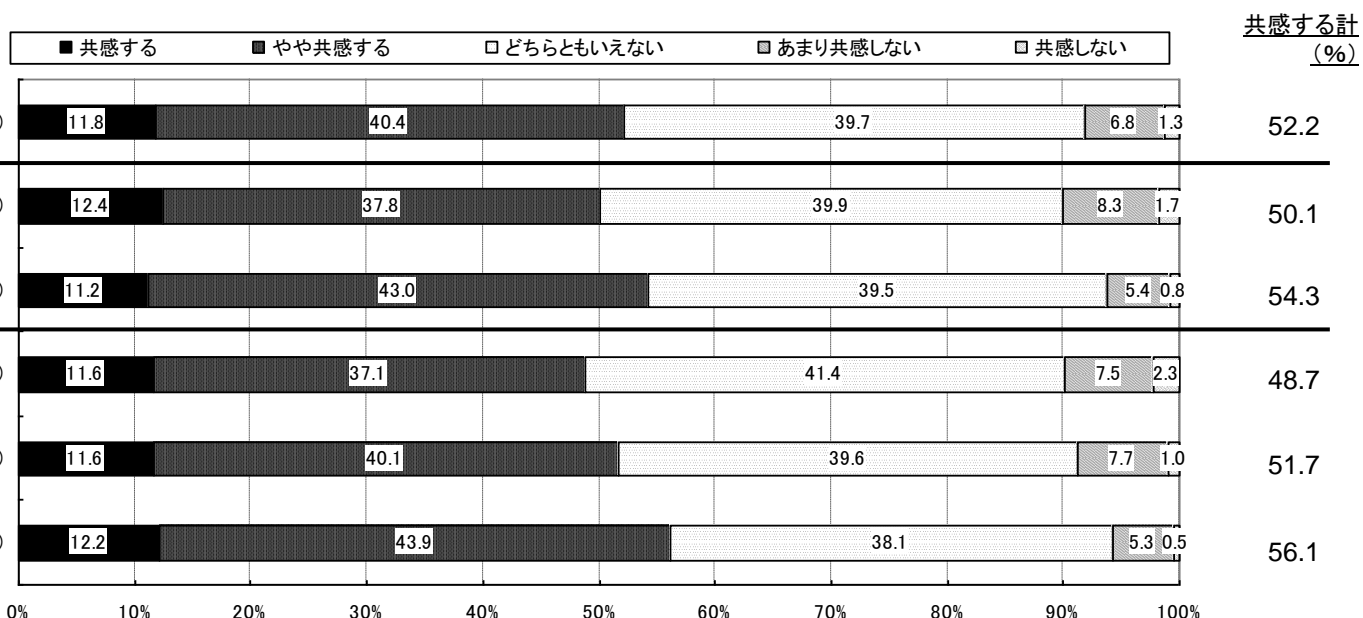
新しい大人世代に地域についての意識を尋ねたところ、「地域の伝統を大切にすること」に7割が共感すると回答。「自分の行動が地域の利益に繋がること」に5割が共感する回答しました。地域など身近な生活圏を尊重し、コミュニティーに貢献することに重きを置く“地に着いた社会性”を有していることがわかります。

男女の比較でみると、女性の方がより共感する割合が高く、世代間を比較すると、世代が上がるにつれ共感する割合が高まります。

Q.「地域や日本の伝統文化や風習を大切に」し、日常生活の中でこれらを育て暮らす時代に（単数回答）



Q.自分の趣味や行動が“自分のため”に留まらず、「地域や社会の利益に繋がることが尊重される」時代に（単数回答）



## ■ 社会的なテーマに有効な商品・サービスの利用にも積極的な意欲。

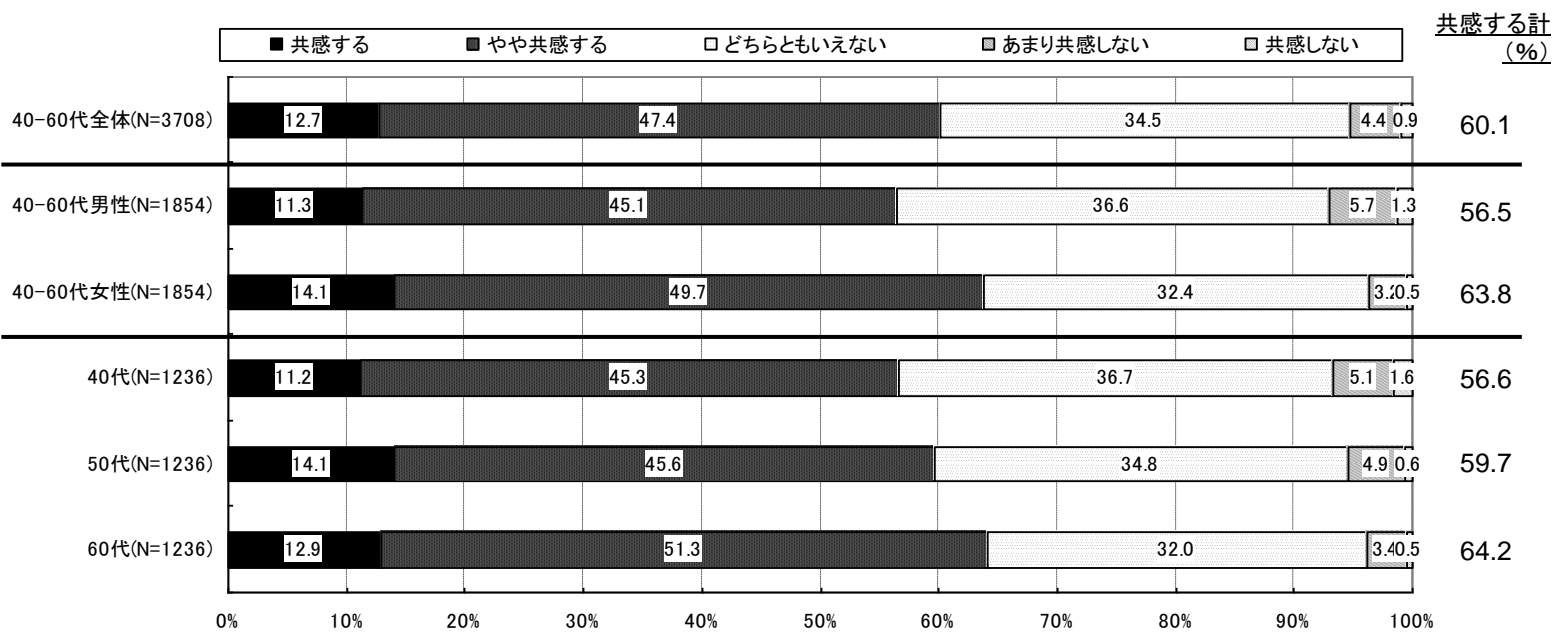
## ■ 制度や仕組みに依存せず自ら行動する社会性を有している。

「社会的なテーマに有効な商品・サービスを生活に取り入れること」に前向きな人が6割。消費やサービス利用においても社会性を忘れない、新しい大人世代の高い社会意識が伺われます、

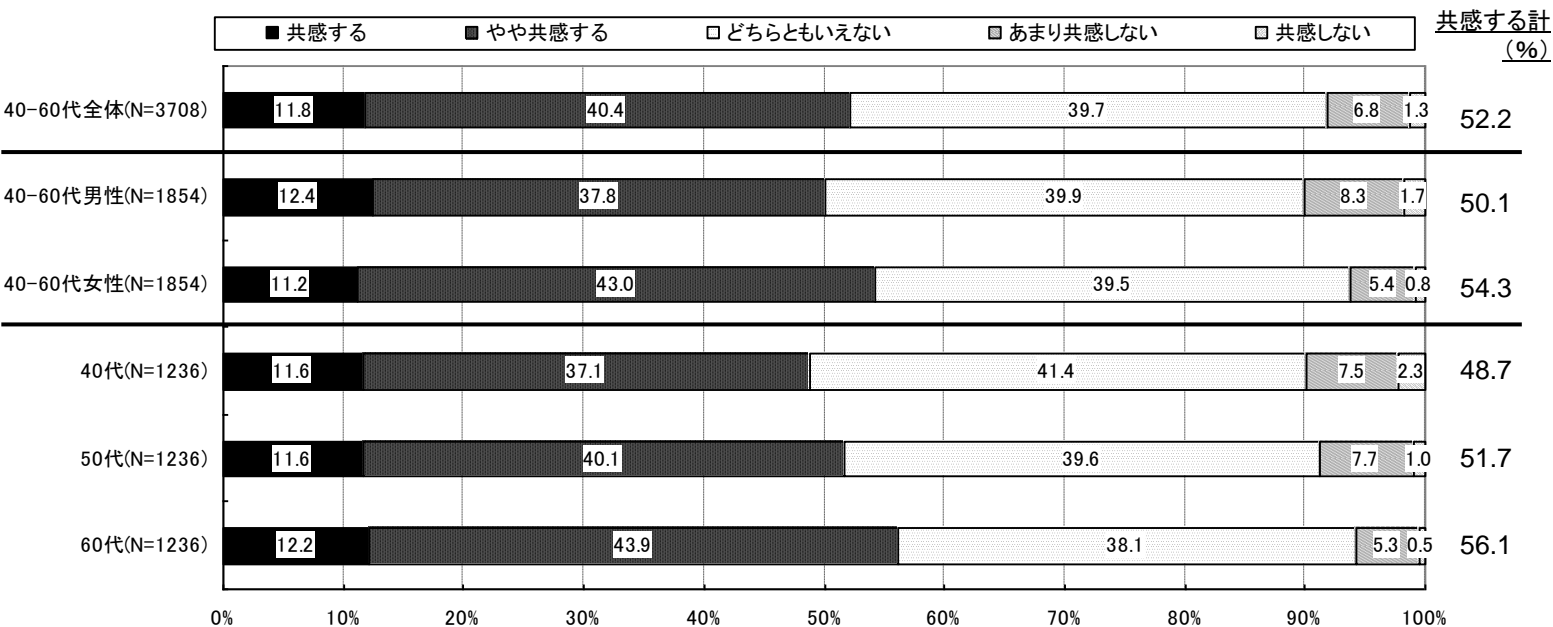
また、「社会や世の中の仕組みに頼らずに自ら自分や家族を守ること」に共感する人が5割に上り、既存の社会制度や仕組みに頼らずに自ら行動しようとする、自立した意識がもつ人が多いのも特徴的です。

男女で比較すると、やはり女性の方が男性よりも共感する割合が高く、年代別に比較しても上の年代になるほど共感する割合が高くなります。

### Q. 環境や福祉などの「社会的なテーマに有効な商品やサービスを日常生活の中に取り入れることが満足に繋がる」時代に（単数回答）



### Q. 社会、世の中の制度や仕組みに頼るのではなく、「自ら行動して自分や家族の幸せや利益を守ることが求められる」時代に（単数回答）



## ◇調査概要◇

調査主体:博報堂 エルダナーレッジ開発 新しい大人文化研究所

調査時期:2011年9月9日(金)～10月3日(月)

調査対象:40～69歳男女 合計3708名(男性1854名 女性1854名)

40代(1236サンプル) 1963～1972年生…バブル世代が中心となる層

50代(1236サンプル) 1953～1962年生…ポスト団塊世代が中心となる層

60代(1236サンプル) 1943～1952年生…団塊世代が中心となる層

調査方法:インターネットアンケート調査

調査エリア:首都圏および全国の中小都市

(※全国の中小都市＝北海道札幌市、宮城県仙台市、新潟県新潟市、静岡県静岡市、浜松市、愛知県名古屋市、京都府京都市、大阪府大阪市、堺市、兵庫県神戸市、広島県広島市、福岡県北九州市、福岡市、岩手県、宮城県、福島県を除く全地域)

## 参考資料

博報堂 エルダナーレッジ開発 新しい大人文化研究所(旧:エルダナービジネス推進室) 過去のレポート一覧

- ・HOPEレポートⅠ 元気で意欲的な「ニューエルダー」の登場 (2001.5.21)
- ・HOPEレポートⅡ エルダナー世代から見て公共サービスや高齢者への工夫はどの程度進んでいるのか(広告分野含め) (2001.7.10)
- ・HOPEレポートⅢ エルダナー世代が現在楽しみにしている付き合い・コミュニケーション (2001.8.21)
- ・HOPEレポートⅣ 65歳以上の「親」世代が「子」「孫」世代とどうコミュニケーションしているのか(3世代コミュニケーション) (2001.9.7)
- ・HOPEレポートⅤ エルダナー層のお金に対する意識調査 (2001.11.9)
- ・HOPEレポートⅥ いま、ラジオがエルダナーを動かす (2001.11.29)
- ・HOPEレポートⅦ エルダナー世代の旅は「夫婦二人きりで、贅沢に！」(2002.3.26)
- ・HOPEレポートⅧ 50代男女に聞いた「言われてうれしい言葉」～[50代調査速報] (2002.7.12)
- ・HOPEレポートⅨ 65歳以上のパソコン使用率:2年間で2.7倍、携帯電話使用率は2倍 (2002.10.21)
- ・HOPEレポートⅩ エルダナーの3分の2はお金に苦労しない～「50代・60代のお金に関する意識」(2003.3.11)
- ・HOPEレポート増刊 「新しい大人文化」創造のヒント(公式)を発表します。開けひま。(2003.10.8)
- ・HOPEレポートⅩⅠ 夫だけが信じる「ウチは大丈夫」～「50代夫婦のパートナー評価」(2003.12.12)
- ・HOPEレポートⅩⅡ 3食きっちり、エルダナーは食べることが楽しみな「食生活優等生」  
「エルダナーの食生活調査」(2004.2.19)
- ・HOPEレポートⅩⅢ 「いまは健康」だが、「今後の健康」・「病気のお金」に強い不安。(2004.4.22)
- ・HOPEレポートⅩⅣ 3世代とも「他世代と、もっとコミュニケーション」したい。(2004.7.14)
- ・HOPEレポートⅩⅤ 団塊リサーチ(1)「団塊夫婦の定年意識」に関する調査 (2004.9.8)
- ・HOPEレポートⅩⅥ 団塊リサーチ(2)「団塊世代のエンタテイメント消費調査」(2005.4.15)
- ・HOPEレポートⅩⅦ 団塊リサーチ(3)「団塊世代のファッション実態調査」(2005.7.20)
- ・HOPEレポートⅩⅧ HOPEサーベイ2005 最新データ「エルダナーの情報縁とタッチポイント」(2005.9.8)
- ・HOPEレポートⅩⅨ 「団塊世代～定年(引退)後のライフスタイル調査」(2005.10.15)
- ・HOPEレポートⅩⅩ 「団塊男性、定年後に目指す『男のロマン』調査」(2006.5.10)
- ・HOPEレポートⅩⅩⅠ HOPEサーベイ2006 「団塊世代 人生60年の棚卸し」(2006.11.24)
- ・HOPEレポートⅩⅩⅡ 「団塊世代 60歳以降の人生設計」(2007.2.20)
- ・HOPEレポートⅩⅩⅢ 2007年団塊リタイヤ開始(1)「団塊世代 退職金の使い方」(2007.4.26)
- ・HOPEレポートⅩⅩⅣ 2007年団塊リタイヤ開始(2)「団塊世代 今後の生活と暮らし方」(2007.6.26)
- ・HOPEレポートⅩⅩⅤ 2007年団塊リタイヤ開始(3)「夫婦の関係」(2007.7.24)
- ・HOPEレポートⅩⅩⅥ “絶滅!?する中高年”ジーンズフィフティ・インフルエンサーの登場 (2009.2.5)
- ・HOPEレポートⅩⅩⅦ 団塊夫婦調査(1)「夫婦はやはり“すれ違い”!?」(2009.4.9)
- ・HOPEレポートⅩⅩⅧ 団塊夫婦調査(2)「夫婦関係改善の手立て」(2009.4.20)
- ・新大人研レポートⅠ “新しい大人世代”の人生のとらえ方(2012.1.19)
- ・新大人研レポートⅡ “新しい大人世代”の言われて嬉しい言葉(2012.2.1)
- ・新大人研レポートⅢ “新しい大人世代”のコミュニケーション(2012.4.16)
- ・新大人研レポートⅣ “新しい大人世代”の健康意識(2012.5.31)
- ・新大人研レポートⅤ “新しい大人世代”のお金に関する意識(2012.8.27)